

チシャノキ

11

(名前の由来)

木の若葉の味がチシャ(レタス)

の味がするから

(木のとくちょう

花がさくのは

6~7月、えだ

の先に白い小

さい花を多くつける

実は9~10月にじゅくす

中に種が2つありそれを包む果

肉はバナナの風味がある多く

の鳥が食べて種を拡散する

(そのた)中国では薬用で使われ

る



チシャノキ

和名

萵苣の木

11

別名

カキノキダマシ

分類

科(APG分類)

ムラサキ科

属

チシャノキ属

科(旧分類)

属

科(旧分類)

属

名前の由来

- ・木の若葉の味がチシャ(レタス)の味が「する」ことから
- ・別名:カキノキダマシ 木肌や葉がカキノキに似ていることから。しかし、カキノキは全縁でチシャノキは鋸歯があることから区別できる。



樹木の特徴

- ・中部日本以西、中国、四国、九州、沖縄の川沿いの林内などに自生する高さ10~15mの落葉高木。
- ・葉は互生し、葉身長さ5~20cm、幅3~7cmの倒卵形~倒卵状楕円形、葉柄は1.5~3cm基部は楔形、縁には浅い鋸歯がある。葉脈は表面で凹み、裏面で隆起する。
- ・葉質は厚く硬い、表面は濃緑色で灰褐色の短い剛毛を散生し、裏面は黄緑色。
- ・花期は6~7月、枝先に12~15cmの円錐花序を出し、白い小さい花を多数つける。花径は約0.5mmで5深裂し平開する。
- ・果実は核果、径約5mmの球形で9~10月に橙黄色に熟す。中には種が2つあり、それを包む果肉はバナナの風味があって、食用にもなる。多くの鳥が食し、種を拡散する。



用途・その他

- ・中国では薬用に使われる。枝と葉は夏の腹下しに効果がある。
- ・材は洋間、洋家具の装飾的な部分に利用される。